

たんぽぽ つうしん

[発行・編集] 社会福祉法人 札幌協働福祉会／アクティビティ・サポートセンター協力会

〒002-8055 札幌市北区篠路町福移147-3 TEL:011-792-3969/FAX:011-792-2887

HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp

センター通信の題名は「たんぽぽつうしん」に決まる

春を呼ぶ希望の歌「タンポポ畑はないけれど」からヒント

新センター通信が再刊され4号を迎えますが、編集部として「題名」を募集してきました。応募は6つばかりありました。その中から「たんぽぽつうしん」に決まりました。命名者は、長尾由紀子さん(クリーンリバーCステージ町内会長)でした。次点は「ゆったり」でした(残念！)。

長尾由紀子さんからのメッセージでは「センター通信の愛称を、いろいろ考えてみましたので…応募します。『ふれんど…青空・えがお』、でも合同忘年会に参加して『たんぽぽ』が良いかなーと思いました。すばらしい歌が出来ましたね。感動しました」とあります。

この「たんぽぽつうしん」という題名は拓北・あいの里

を代表する文筆家の山田太郎さん(前拓北・あいの里連合町内会長)の詩に感動した著名な作曲家である森克之氏(札幌協働福祉会理事長)が曲を付けた「タンポポ畑はないけれど」に由来しています。この歌は札幌協働福祉会の大忘年会で初めて歌われました。

皆で札幌協働福祉会の「たんぽぽつうしん」を読みましょう。拓北・あいの里の詩人と作曲家が作った名曲「タンポポ畑はないけれど」を歌おう。そして「やさしさ響きあう街『拓北・あいの里』」を皆で作らしましょう！

「タンポポ畑はないけれど」の歌詞と楽譜は4面になります。近々DVDも作る予定です。

東日本大震災被災者に支援を！

利用者・保護者、関係者の皆さん、「たんぽぽつうしん」読者の皆さん

ご承知の通り平成23年3月11日14時46分に東北地方太平洋沖でマグニチュード9.0という有史上最大の地震がおきました。死者・行方不明者が現時点で2万6千人を越える状況で、さらに福島原発事故が波及しており、被災者及びは特定できないほどになっております。

東北地方とはジェントルティーチング研修会を通じ深いかわりを持ってきましたが、当法人と親交の深かった仙台市幸泉学園施設長小沼勝一氏(写真・左)が利用者・職員共々行方不明との連絡を受け、驚いているところです。

私どもと係りの深い、災害ボランティアの経験豊かな社会福祉法人HOPから、現地にボランティアを送るということで支援物資の要請がありました。要請に

応じタオル・軍手・バスタオル・雑巾、ガソリタンクとガソリンをHOPに託しました。3月17日に現地へ向けて出発したとのことです。

札幌協働福祉会としても、可能な限りの支援を行います。具体的には、厚生労働省・札幌市よりの、ケアホーム・ショートステイでの被災者の受け入れと、職員の被災地への派遣に応じることとしました。職員派遣は、当面ウレシパから、3月28日から4月一杯交代で送ることとしました。職員からカンパも集めて送りました。

皆様方の物心両面からの、心ある支援を呼びかけます。利用者の所属する事業所もしくは札幌協働福祉会本部(TEL011-792-3969、FAX011-792-2887)に、ご連絡いただければ対応いたします。よろしくお祈りします。

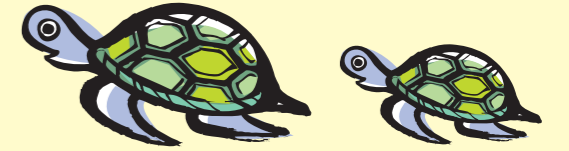
社会福祉法人 札幌協働福祉会
理事長 森 克之



ジェントルティーチング
研修会(2008年)より

2011年 2月～
2011年 3月

イベント報告コーナー



2/23(水)
～26(土)

2011 沖縄ツアー



西表島のジャングルで記念写真 総勢32名

西表からローが引く
水牛車に乗って由布島へ



『美ら海水族館』。ああおもしろかった！



沖縄を満喫中！



沖縄名物ゴーヤチャンプルもあるよ。おいしいね！



沖縄舞踊に挑戦！

沖縄民謡にあわせて
踊るAさん



<写真:新村 正>

3/4(金)

第6回 拓北・あいの里ノーマライゼーション研究会



福井一之氏



2011年3月4日(金)午後、拓北・あいの里地区センターで「第6回拓北・あいの里ノーマライゼーション研究会」が開かれました。今回のテーマは「最新の障がい者施策を学ぼう」(写真・上)。

会場には約100名の参加者が集まり、「北海道障がい者条例」と「自立支援協議会」について道保健福祉部障がい保健福祉課から小畑正彦氏、市保健福祉部障がい福祉課から木村功一氏のお二人お招きしそれぞれの内容の説明を頂きました。

休憩をはさんで後半では「特別支援教育」と「インクルーシブ教育」の関連について北海道教育庁教育指導監の福井一之氏(写真・左)からお話頂きました。研究会は最後に会場の参加者からの質問に答える時間が用意され、約2時間で終了しました。

3/18(金)

当別町から除雪作業に感謝状

2011年3月18日(金)午前、札幌協働福祉会本部で今年1月26日(水)の当別町東町団地の除雪作業に対して当別町から協働福祉会の事業所「当別・高岡アクティビティーセンター」へ感謝状が贈られました。

除雪作業は今年1月中旬、連日の降雪で東町団地は除雪が追い着かず雪に埋もれた状態、主に高齢者の住宅では除雪が急務でした。そこで町の要請を受け「当別・高岡アクティビティーセンター」のユーザーさんとスタッフが除雪作業を行いました。

表彰は除雪作業に参加したメンバーの中から肴倉(さかなくら)さん、室(むろ)さん、近藤(こんどう)さんの3名と澁谷施設長が出席。宮野

常務理事、辰田総合施設長が見守る中、メンバーを代表して室(むろ)さんに当別町福祉部部長の小山さんから感謝状が手渡されました(写真・右)。今回の表彰を受け宮野常務理事は「地域との関わりあいを大切にすること。そしてこれからも活動を続けてほしい」と気持ちを述べました。



<P3・報告:田村 隆>

